

	コード	名 称		区分	コード	名 称		
事業名	555	しらさぎ運動公園整備事業		会計	01	一般会計		
				款	08	土木費		
				項	04	都市計画費		
基本 施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する		目	06	都市公園整備費		
				細目	386	都市公園整備事業		
行革大綱の重点事項番号		4		細々目	52	しらさぎ運動公園整備事業		
担当部課	コード	190700		担当者 氏 名	松尾 卓哉	連絡先	43 - 2315	
	名 称	産業建設部 都市計画課					(内線) 263	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)		ニュースポーツ愛好者、公園利用者、防災拠点		※対象件数
成果(どうする)		子供連れの憩いの場となるべき公共緑地に新たなスポーツ人口が流入し、本来の目的を十分果たしていない公園が見受けられることにかんがみ、これらスポーツ競技者と憩いの公園を分離することで市民に安心のある空間を提供することができるようになる。また、非常時における防災拠点としての機能を備えることで市民の安全安心が図れる。		
根拠法令・要綱等		都市公園法		
開始年度	平成 18 年度	関連事業		
終了年度	平成 26 年度			
H21 事業 内容	事業認可を行うにあたり、国、県と調整を図り、地権者との交渉を行った。			
社会情勢 の変化等	総合公園等における芝生広場において、ニュースポーツ愛好者と一般散策者とが競合する事態が発生し、公園内の安全が十分確保されていないとの苦情が寄せられている。また、地域防災計画において地域防災拠点として位置付け、災害時の復旧、復興拠点、地域住民の避難場所として暮らしの安全、安心を支える公園としての機能を果たす。			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地	伊賀市下友生及び西明寺地内A=7.9ha	1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	1,693,000 千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	目標		
			実績	実績		
			目標	目標		
			実績	実績		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	目標		
				実績	実績		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入 コスト			H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
	直接事業費計 (A)		(千円) 2,808	(千円) 178	(千円) 110,760	(千円) 406,500
	A の 財 源 内 訳	国庫支出金			44,000	145,000
		県支出金				
		地方債			62,700	247,000
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,808	178	4,060	14,500
	事業投入人件費 (B)		0.3 人 2,160	0.2 人 1,440	1.5 人 10,800	1.5 人 10,800
	フルコスト(A)+(B)		4,968	1,618	121,560	417,300

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)
必要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		子ども連れの憩いの場となるべき公共緑地にニュースポーツ人口が流入しており、スポーツ愛好者と憩いの公園を分離し、公園利用者の安全性を確保する必要がある。また非常時の防災拠点としても活用し得る運動施設についても検討することで、万が一の事態に対応しえる施設整備をすすめる必要がある。
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効 性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		この公園の整備により、スポーツエリアと憩いのエリアの区分が明確になり、利用者の安全性が確保される。また、防災拠点として市民の安全安心が図れる。
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
達成 度	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		○
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
達 成 度	当初設定した計画を 予算の繰越の有無	100% 無	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
効 率 性	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	早期工事着手に向け、事業認可を得るべく国、県と調整し、地権者の協力が得られるよう交渉を行い、承諾が得られ次第測量調査業務、実施設計業務を行う。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 県、国との協議を行い、事業認可を得た。また、地権者交渉を行い概ね了解をいただいた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	清水 仁敏
事業の方向性	【方向性】 拡大・充実
	【理由】 地域防災拠点が整備されていない市街地において、地域防災拠点となる整備を行うと共に、新たなスポーツレクリエーション需要への対応、自然とのふれあい、市民の健康増進を目的として整備を行う必要がある。
	現時点における課題、その他 事業に必要な用地を取得し、工事着手に向け測量、設計業務を行う必要がある。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	平成24年度工事着手に向け、平成22年～平成23年度には全ての用地を取得し、設計業務を完了するよう進める。